

※第4回海老名市部活動検討委員会資料

中体連運営委員会での意見について

H29. 9. 28 事務局

9月19日（火）中体連運営委員会（運動部顧問の種目別代表が集まる会議）が開かれました。今回は、吹奏楽部・合唱部の顧問代表も参加し、教育長から「部活動検討委員会について」「国の動向と今後の考え方」「ねらい（案）」「活動日数・活動時間（案）」を説明した後、意見交換をしました。

◆顧問代表から出た意見

○市大会、県央大会、県大会と立て続けに部活動がある時には、週1日休めと言われても難しい現状がある。

○自分は（かなり専門的にその種目をやっているが）3～4時間しか練習はやらない。終日練習をすることはない。

○野球部は土日両日とも終日練習を行う顧問もいる。（顧問による）

○体育館の部活動はローテーションがあるため、終日練習をやることは少ない。

○11月～3月の練習試合が少なく、定期テストがあると練習もできない状況があるので、土日両日とも終日練習をやりたくなる。

○自分は大会の関係で7月の土日はすべて終日練習をやっている。9月～3月は平日午後の練習が少ないので生徒の負担はあまりないのではないか。いずれにしても、あまり規則化されると苦しい。

○剣道は神奈川県が強い。この規定ができると海老名市からは関東大会、全国大会をめざせないことになる。子どもの願いが最初から達成不可能になることは複雑な気持ちである。

⇒（教育長）子どもの願いをかなえてやりたい気持ちはわかるが、何が本当に子どもたちのためによいことなのか、見失ってはいけない。

（音楽系部活動は一日中歌ったり吹いたりするのか、の問いに）

○高校の合唱部は一日中歌ったりするが、自分は半日。

○吹奏楽は一日中吹いている。

◆質問

○海老名市が「週 1 日休養日」と決定した後に、文科省が「週 2 日休養日」としてきたらどうするのか。

⇒（教育長）海老名市として協議・決定した方を優先する。

○文科省は、大会が 5 連続などという状況があっても休養日のラインを出してくるのか。

⇒（教育長）国がラインを出したら県中体連が方針を変更するはず。

◆確認事項

○10 月 20 日までに、種目ごとに話し合い、「この時期はどうしても例外になる」というものをあげる。（それ以外はダメということになる）

○最終的な案は専門部長または顧問たちに何らかの形で伝える。（直接伝えられることが一番良いが、2 月まで専門部会がないため）